

2022 Autumn

新宿パークタワー アトリウムコンサート

新宿パークタワーが贈る秋のアトリウムコンサート。
噴水広場を望む高く開放的な空間のもと、
迫力あるオーケストラの名曲をお楽しみください。

モーツァルト

歌劇《フィガロの結婚》K.492より序曲

Wolfgang Amadeus Mozart

The Marriage of Figaro K. 492, Overture

ドヴォルジャーク

交響曲第8番 ト長調 op.88

Antonín Dvořák

Symphony No.8 in G major, op.88

指揮 澤橋 淳

Conductor Jun Sawahashi

コンサートマスター 七澤清貴

Conductor Kiyotaka Nanasawa

セブン・ブリッジ・オーケストラ

Seven Bridges Orchestra

2022年10月11日 火

1回目 ▶ 12:00～13:00

2回目 ▶ 18:00～19:00

会場：新宿パークタワー 1F アトリウム

入場無料

主催：東京ガス不動産株式会社

SHINJUKU PARK TOWER



入場無料

2022
Autumn

新宿パークタワー アトリウムコンサート

楽曲解説

モーツァルト：歌劇《フィガロの結婚》K.492 より序曲 Presto ニ長調 4/4 拍子

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791) は、オーストリア (神聖ローマ帝国領) のザルツブルクで生まれました。歌劇《フィガロの結婚》の初演は、1786 年 (30 歳)、ウィーンのブルク劇場で作曲家自身の指揮で行われました。初演ではアンコールが求められるほどの大成功でしたが、貴族批判に繋がるテーマだったため、上演期間途中で別の演目に変更されてしまいます。あらすじは、アルマヴィーヴァ伯爵の従者フィガロと、同じく伯爵家の女中スザンナの結婚式当日に、スザンナを誘惑する伯爵をフィガロが懲らしめるという筋書きです。モーツァルトの生き生きとした音楽が魅力的です。

ドヴォルジャーク：交響曲第 8 番 ト長調 op.88

アントニン・レオポルト・ドヴォルジャーク (1841-1904) は、チェコ (オーストリア帝国領) のネラホゼヴェスで生まれました。有名な《新世界より》の 1 つ前の作品となる交響曲第 8 番は、1889 年 (48 歳)、ボヘミアのヴィソカー村の別荘で夏から秋にかけて作曲し、翌年、プラハのルドルフィヌムで作曲家自身の指揮で初演されました。彼は、この頃、ウィーンにおいて皇帝から勲章を受章したり、チェコ科学アカデミーの会員に推挙されるなど、チェコを代表する作曲家となっていました。この作品はボヘミアの自然や人生を謳歌する民衆の声が聞こえてくるような作品で、ドヴォルジャーク円熟期の田園交響曲です。

第 1 楽章：Allegro con brio ト長調 4/4 拍子

冒頭でチェロがどこか懐かしさを感じる牧歌的な息の長い旋律を歌った後、フルートによる鳥の囀りが続きます。そして弦楽器によるスラヴ舞曲風の明るい楽想は、ボヘミアの農民たちが陽気に生活している様子が目に浮かびそうです。

第 2 楽章：Adagio ハ短調 2/4 拍子

広大なボヘミアの大地が見えるような牧歌的な旋律と鳥の囀りのモチーフとの対比で始まります。自然と対峙しながら、生と死の命題を瞑想的に自答するような内省的な音楽です。

第 3 楽章：Allegretto grazioso - Molto vivace ト短調 3/8 拍子

ヴァイオリンのメランコリックな美しい主題を持つワルツと、農民たちの踊りのようなレントラー風のトリオが対照的で、最後は明るく快活なコードで生を謳歌します。

第 4 楽章：Allegro ma non troppo ト長調 2/4 拍子

トランペットの輝かしいファンファーレの導入に始まって、ボヘミアの民族舞踊風の主題が提示されます。これに基づく変奏が繰り返されたのち、全員で力強く奏でます。途中、東方スラヴの民俗音楽風の旋律が現れ、最後は壮麗なコードによって華やかに曲が閉じられます。

指揮：澤橋 淳 Conductor: Jun Sawahashi



東京学芸大学大学院修士課程 (音楽学) 修了。これまで指揮を崎田俊治、村方千之、ハンス・グラーフ、アンドレイ・アニハーフの各氏に師事。2009年サンクト・ペテルブルク国立アカデミー交響楽団を指揮。2007年に七澤清貴氏とともにセブン・ブリッジ・オーケストラを結成し、新宿パークタワーでの公演は今回で20回目を迎える。

コンサートマスター：七澤 清貴 Concertmaster: Kiyotaka Nanasawa



東京藝術大学付属音楽高校、同藝術大学、パリ・エコールノルマルを全て首席で卒業。多久興、海野義雄、ブロードス・アール、ルイ・グレーラー、マックス・ロスタル、フォンタナローザの各氏に師事。スイスにてロスタルコンクール第1位。スイス ビエール市立交響楽団で3年間コンサートマスターを務め、帰国後、神奈川フィルハーモニー管弦楽団で20年間コンサートマスターを務める。ソロ、室内楽でも全国的に活躍。アンサンブル・ソノール代表。

セブン・ブリッジ・オーケストラ Seven Bridges Orchestra

クラシック音楽をより多くの方に伝えるために2007年に結成。東京オペラシティや新宿パークタワーのアトリウムコンサートに出演。国内外で活躍する若き少数精鋭メンバーでクオリティの高い音楽を目指す。

※1970年代、淀橋浄水場跡地に7棟の超高層ビルが建設されたことで発展してきた西新宿は、その後も次々とビルが建設され、現在は日本を代表する超高層ビルの街となりました。このオーケストラ名の由来は、西新宿のさらなる活性化のために、ビルのアトリウムを中心にオーケストラが巡回演奏することで、人の交流の橋渡しをしたいという思いから「セブン・ブリッジ」と名付けられました。

2022年10月11日 火 1回目 ▶ 12:00~13:00
2回目 ▶ 18:00~19:00

会場：新宿パークタワー 1F アトリウム

お問い合わせ 新宿パークタワー 総合案内

東京都新宿区西新宿3-7-1 TEL 03-5322-6640
<http://www.shinjukuparktower.com>

交通アクセス

JR新宿駅南口から徒歩12分
西口エルタワー前より10分間隔で無料バス運行

主催：東京ガス不動産株式会社



チラシ作成日：2022年 10月